私も、まだまだここから！

藤田小学校　三年　大川　真優

今でも忘れません。小学校一年生の時のエレクトーンコンクール。私は一番目で、きんちょうとプレッシャーから思うようなえんそうが出来ませんでした。そのけっか、同じクラスの友だちは金しょうに入りましたが私は入れず、大阪地区大会に進めませんでした。

くやしくてくやしくて、大泣きしました。この本を読んで、蓮のすがたと自分のすがたが重なって、どうなっていくのだろうと続きが気になりねっ中して読みました。

蓮は水泳をがんばってきた小学四年生の男の子です。スイミングクラブの特訓生にえらばれるチャンスが来てけん定をうけますが、蓮ではなく弟のりんがうかってしまいます。

「今までのがんばりってむだだったのかな？」この蓮の気持ちは、私もとてもよくわかりました。なぜなら、一年生のコンクールで同じ気持ちになったからです。蓮はこのままスイミングをやめてしまうのかなとドキドキしましたが、すいすい川原クラブへ入ることを決めて練習をがんばり始めた蓮はえらいなと思いました。

春田コーチと出会い、海音や陽太という新しい仲間といっしょに練習をがんばりますが、一番蓮の気持ちが大きく動いたのは、ＴＳＳ杯の県予せんで今までで一番速いタイムの五十秒台を出したのに、三位でＴＳＳ杯には出られないとわかった時だと思います。三位はくやしかったと思います。でもそれだけじゃなくて、くやしいのは一生けん命水泳をやっているからだと気づいたこと。二位までには入れなかったけど、じゅうじつ感でいっぱいで、今まで自分ががんばってきたことはむだじゃなかったってそんな風に思えたことがすばらしいと思いました。そして私も今までとこれからの自分について考えてみようと思いました。

私は今年もエレクトーンコンクールにちょうせんしています。一年生でとてもくやしい思いをした時、自分よりけっかがよかった友だちをうらやましいと思う気持ちと、自分はその子よりだめなんだという気持ちが大きかったです。それでも、友だちに追いつきたいという思いや本番でよいえんそうをしたいという気持ちでコツコツ練習をがんばってきました。色々な本番をけいけんするうち、けっかも大切だけれど、けっかだけが全てではないということに気づきました。一年生の時にくやしい思いをしていなければ、今の私はいなかったかもしれません。失敗したからよかったとは言えないけど、私も蓮と同じようにくやしい思いをしたからこそ気づけたことがあります。

「まだまだここから」という言葉から、失敗してもけっかが出なくてもむだなことなんてない。そこからまた前に進んでいけるという勇気をもらいました。これから先けいけんする本番で、もっと練習をがんばればよかったと後かいすることのないように、私もまだまだここからがんばっていきたいです。

願いがかなうふしぎな日記

よつば小学校　四年　西岡　那智

ぼくなら「お母さんがやさしくなってほしい」と日記に書きます。

この本を選んだ理由は、題名を見てこんな日記があったらいいなあと思ったからです。

この本の内ようは、こうへいがおばあちゃんにもらったふしぎな日記のお話です。

おばあちゃんが「このノートに書いたことは、全てねがいがかなうよ。」と言いました。信じていないこうへいは、そのノートをくれたもう死んでしまっているおばあちゃんに会いたいと書きました。そしたら、ゆめの中でおばあちゃんに会えました。次に両親がなか良しになってほしいと書きました。これもねがいがかないました。次は、泳げないのに「泳げるようになった」と書きました。いなかのあさい川で練習をして泳げるようになりました。最後に、去年引っこしてしまったおさななじみの「石川なつみさんに会いたい」と書きました。まずは地図で調べて、電車の時間を調べて、おさななじみに会うためのど力をして会うことができました。

ぼくは自分のねがいをかなえるためにどんなど力をすれば良いかを考えてみました。

いつもゲームをしてしまって、やらないといけないことを後回しにしてしまいます。それで、よくおこられます。だから、まずはゲームをする前にやらないといけないことを先にやればおこられないと思います。

ふしぎな日記に書きたいことがあともう二つあります。一つ目は「バレーボールが上手になりたいし、二つ目は、足がもっと速くなりたい」です。バレーボールは小学一年生の十一月から習っていて、サーブやカットは上手になってきたけど、今年からちがうチームにい動をしたらもっと上手なお兄ちゃん達がいてぼくももっと上手になりたいと思いました。走るのも好きで毎年えきでん大会の選手に選ばれていたけど、ぼくより速い子がたくさんいたのでもっと速くなりたいと思いました。

ねがいをかなえるためには、どうすれば良いかを考えてみました。バレーボールだったら分からないところは聞いてたくさん練習をする、足が速くなるためには、正しいフォームを調べてトレーニングもすることだと思いました。

いろいろ考えてみると、こうへいが持っていた「ふしぎな日記」は、ふつうのノートだと思いました。ねがいをかなえるために、こうへいがいろいろなど力をして自分でかなえていたと思います。なので、ぼくもこうへいのようにねがいごとを決めて、それをかなえるためにたくさんど力をしていきたいです。

まずはこの夏休みに、バレーボールはもちろん、足が速くなるために体力作りからがんばってみようと思います。